

文部科学省 知識集約型社会を支える人材育成事業
文理横断・学修の幅を広げる教育プログラム



「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりプログラム

2023年度1年生（3期生）用ガイダンス資料

- 講師紹介
- ひらめきプログラムの紹介
 - ・ 動画とHP
 - ・ 実施プログラム
 - ・ 6つの力と都市大力
 - ・ 履修科目について
 - ・ 受講にあたっての注意点
 - ・ 新リリース動画
- 参加資格と選抜試験
 - ・ 権利を有する学生
 - ・ 選抜試験受験の学生
- 今後の要チェックスケジュール
- 質疑

【配布資料】

- 1) ガイダンス資料 ※当資料
- 2) 6つの力×都市大力資料
- 3) プログラムリーフレット（コピー版）
- 4) 選抜試験概要

講師紹介



岩尾徹, IWAO, TORU 博士 (工学) 【教授／ひらめきプログラム委員長】

2000年3月中央大学博士課程後期修了。博士 (工学)。同年同大理工研ポスドク, 2001~04年日本学術振興会特別研究員 (PD)。この間に、1998年セントラルワシントン大学留学, 2001年テキサス大学客員研究員, 2002年ミネソタ大学客員研究員。2004年武蔵工業大学講師, 2009年東京都市大学准教授, 2017年同教授。テレビや映画の科学監修、多数。電気学会 電力・エネルギー部門副部門長他を歴任。熱プラズマ, アーク放電, 遮断器に関する研究に従事。電気学会、IEEE、放電学会、溶接学会、CIGRE、日本工学教育協会、関東工学教育協会の各会員。電気学会 上級会員。



杉浦正吾, SUGIURA, SHOGO 博士 (環境学) 【特任教授／ひらめきPGコーディネーター】

専門は環境教育、サステナビリティコミュニケーション。大学院生時代に起業。

以降、企業のソーシャル・コミュニケーション／SDGsブランディング／ESGコンサルティング、ESDプログラム開発などに従事。

クライアントは、三井物産、東京電力、伊藤園、ミニストップ、大塚製薬、東京ガス、日建設計グループなど。

三井物産と開発の探究型ESD「サス学」は日本環境共生学会活動賞や「青少年の体験活動推進企業表彰」文部科学大臣賞受賞。

近年は、課題解決型プロジェクトをテーマに、地方創生・脱炭素視点での尾瀬国立公園リブランディング、

小中高校探究学習×企業研修といった新スキームの開発などに従事※1。武蔵野大学客員教授。

株式会社プラチナマスター代表取締役※2、一般社団法人サステナビリティ・エンパワーメント代表理事※3

※1



※2



※3



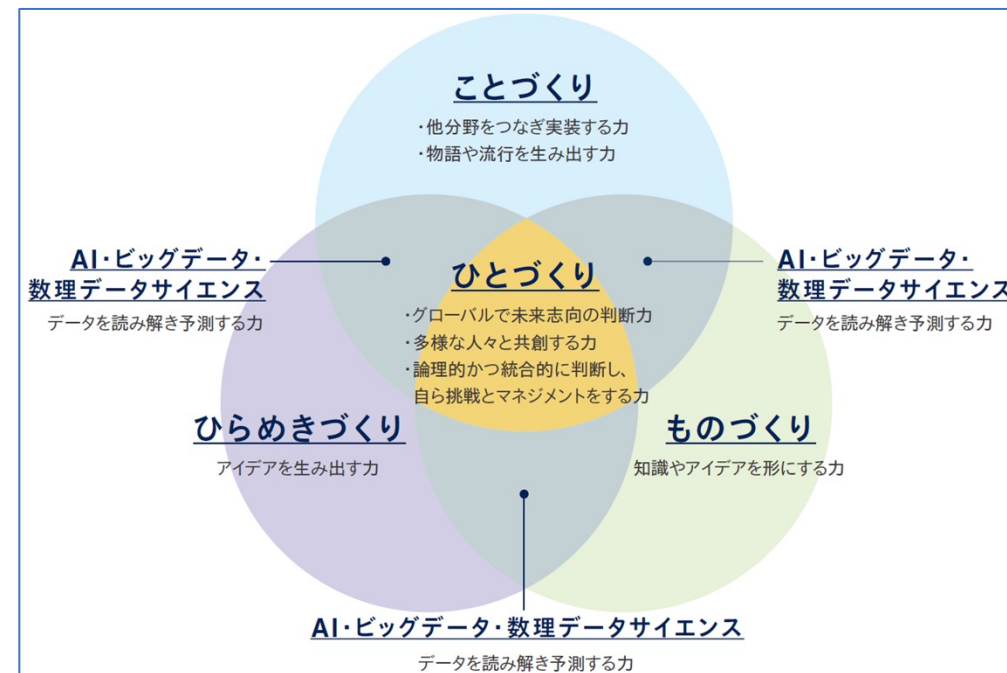
岸和幸, KISHI, KAZUYUKI キシエンジニアリング (株) 代表取締役 【特任教授／ひらめきPG学修アドバイザー】

大学卒業後、1987年-1998年にてIT企業でSEとして金融保険系のシステム設計・開発に取り組む。屋久島での登山時の遭難未遂にて、人間社会を支える生物多様性・生態系の大切さに気付かされて、転身。東洋工学専門学校で自然環境保全学を学ぶ。2001年-2011年、(株)リコーの社会環境本部でシニアスペシャリストとして、生物多様性保全活動を推進。世界各地で行政やNGOとの協働による課題解決型プロジェクトが国内外から高く評価され、生物多様性COP10では企業の先進事例として紹介される。2012年-現在、独立して「人と自然を調和しながら、持続的な未来を共創する」をテーマに、企業のサステナビリティ経営活動のサポート事業を推進している。得意は、歴史 (高校3年共通模試・日本史全国5位)。環境省・森林保全活動における民間企業とのパートナーシップ構築方策検討調査委員、JBIB (企業と生物多様性イニシアティブ) R&D部会長、東北大学・生態適応コンソーシアム運営委員。共著「企業が取り組む「生物多様性」入門」。



瀬戸久美子, KUMIKO, SETO 「Forbes JAPAN」エディター／特集デスク 【特任教授／ひらめきPG学修アドバイザー】

編集者、モデレーター。「Forbes JAPAN」コントリビューティングエディター／特集デスク兼任。カバー領域はビジネス・経営全般、グローバル経済、メディアの未来。早稲田大学在籍中に交換留学先の米国でジャーナリズムを学び、卒業後は日経ホーム出版社 (現・日経BP) に就職。『日経ビジネス』記者や『日経WOMAN』『日経TRENDY』副編集長などを歴任。300人以上の企業経営者やリーダーにインタビューし、東日本大震災の現地報道にも従事。J-WAVE「Jam the WORLD」のナビゲーターや報道番組のコメンテーターなども務めた。現在は編集者として経営者や社会起業家を中心に取材・執筆活動を行うほか、メディアイベントのモデレーターとしても活動。個や集団からメッセージの本質を引き出し、媒介することを得意とする。2023年1月には日本のメディアリーダーとして「世界経済フォーラム年次総会2023」(通称「ダボス会議」)に参加し、「Japan Night Davos」(ジャパン・ナイト)のMCも務めた。修士 (国際関係学)。



● HP → <https://hirameki.tcu.ac.jp/>

● 動画

① 「ひらめきプログラムの説明 5'36"

<https://youtu.be/WNJibxtexU8>

② 「ひらめき・こと・もの・くらし・ひと」づくりプログラム 統合的学び 7'41"

<https://youtu.be/dhz60hT35GA>

ひらめきプログラムの紹介_実施プログラム

プログラム	ひらめきづくり	ことづくり	AI、BD数 理S	ひとづくり	ものづくり	くらしづくり
	文理横断・学修の幅を広げる			グローバル・幅広い教養と統合的な学び	分野融合	
成果▷	創造と社会変革 ・アイデアをうみだす力	共創／アーバンデジタルトランスフォー メーション ・他分野をつなぎ実装する力 ・物語や流行を生み出す力	AI、ビッグデー タ、数理デー タサイ エンス 分析と予測 ・データを読み 解き予測する 力	主体性を活かした挑戦と未来志向 ・グローバルで未来志向の判断力 ・多様な人々と共創する力 ・論理的かつ総合的に判断 ・自ら挑戦とマネジメントをする力	専門性を活かした 理論と実践 ・知識やアイディ アを形にする力	専門性を活かした 理論と実践 ・社会や生活をデザ インする力
1	1-1Q 探究活動とスタートアップ・ベン チャーマインドに触れ、その世界 を知る	1-後期 ことづくり・仕組みづくり・ ゲームチェンジ		1-後期集中 社会・メディア・政治・経済		
2	1-後期 発想力を鍛え、アイデアの質を あげよう	2-前期集中 Society 5.0 と センサ計測 ・マイコン制御		2-前期集中 歴史・外交・文明		
3	2-夏 エンジニア視点のハッカソン	2-後期集中 共創とアーバン・デジタルトラ ンス フォーマーションUDX		3-前期集中 健康科学・感染症・免疫学・メンタルヘルス)		
4	2-後期集中 多領域視点の アイデアソン	3-前期集中 メディア発信と双方向コミュニ ケーション		3-前期集中or科目による ※全学生履修可能 マーケ ティング・ブランド、コンプライアンス（技術者倫理・研究 倫理・会計・経営）、戦略、哲学、その他 ※ゼミ形式予定		
5	3-前期集中 ひらめき発見 デザイン学	3-後期集中 リーダーとプロジェクトマネー ジメント		3-後期集中or科目による ※全学生履修可能 マーケ ティング・ブランド、コンプライアンス（技術者倫理・研究 倫理・会計・経営）、戦略、哲学、その他 ※ゼミ形式予定		



別資料にて説明します！

分野融合の学び (ものづくり×らしげり) [56 単位]

学系名	科目名	単位数	必須/選択
機械システム工学科	ひらめきプログラムの履修(初)	1.5	必
	ロボトニクス	2	選
	ロボトニクス演習	2	選
	プロトタイプ製作(初)	2	必
	プロトタイプ製作(中)	1.5	必
	プロトタイプ製作(後)	1.5	必
	工業実習演習	2	必
	電気電子実習(初)	2	必
	電気電子実習(中)	2	必
	電気電子実習(後)	2	必
電気電子通信工学科	ひらめきプログラムの履修(初)	1.5	必
	電気電子実習(初)	2	必
	電気電子実習(中)	2	必
	電気電子実習(後)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
人間工学科	ひらめきプログラムの履修(初)	1.5	必
	人間工学実習(初)	2	必
	人間工学実習(中)	2	必
	人間工学実習(後)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
応用化学工学科	ひらめきプログラムの履修(初)	1.5	必
	応用化学実習(初)	2	必
	応用化学実習(中)	2	必
	応用化学実習(後)	2	必
	応用化学実習(特)	2	必
	応用化学実習(特)	2	必
	応用化学実習(特)	2	必
	応用化学実習(特)	2	必
	応用化学実習(特)	2	必
	応用化学実習(特)	2	必

らしげり [8 単位]

学系名	科目名	単位数	必須/選択
工学系	工学系実習(初)	2	必
	工学系実習(中)	2	必
	工学系実習(後)	2	必
	工学系実習(特)	2	必
	工学系実習(特)	2	必
	工学系実習(特)	2	必
	工学系実習(特)	2	必
	工学系実習(特)	2	必
	工学系実習(特)	2	必
	工学系実習(特)	2	必
機械工学科	機械工学実習(初)	2	必
	機械工学実習(中)	2	必
	機械工学実習(後)	2	必
	機械工学実習(特)	2	必
	機械工学実習(特)	2	必
	機械工学実習(特)	2	必
	機械工学実習(特)	2	必
	機械工学実習(特)	2	必
	機械工学実習(特)	2	必
	機械工学実習(特)	2	必

グローバル・幅広い教養と統合的な学び [29 単位]

ひとづくり [26 単位]

学系名	科目名	単位数	必須/選択
電気電子通信工学科	電気電子実習(初)	2	必
	電気電子実習(中)	2	必
	電気電子実習(後)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
	電気電子実習(特)	2	必
人間工学科	人間工学実習(初)	2	必
	人間工学実習(中)	2	必
	人間工学実習(後)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必
	人間工学実習(特)	2	必

2024年度全学展開予定

ひらめき・こと・もの・ひとづくりプログラム

※コース①から④は必修、⑤から⑧は任意(分限科目)
 ※電気電子実習(初)から実習(特)まで、⑨から⑫は必修、⑬から⑭は任意(分限科目)
 ※工学系実習(初)から実習(特)まで、⑮から⑰は必修、⑱から⑲は任意(分限科目)
 ※応用化学実習(初)から実習(特)まで、⑳から㉑は必修、㉒から㉒は任意(分限科目)

もっとくわしく知りたい人はWebをCheck!

このプログラムの詳細を知りたい、このプログラムに参加したいという人は、ぜひWebへ!ここでは語りきれないプログラムの特長と魅力を理解できるコンテンツが満載です。

東京都立大学
 TOKYO CITY UNIVERSITY
 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1丁目28番1号(世田谷キャンパス)
 TEL: 03-5707-0104(代)
<https://hirameki.tcu.ac.jp>
hirameki@tcu.ac.jp

東京都立大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

文部科学省 令和2年度大学教育再生戦略推進費
「知識集約型社会を支える人材育成事業」

「成長しつづける体質」は、
このプログラムで身につく
キミの一生の宝になる。

新しい教育への挑戦

2023年度入学生 理工学部 6学科編
 (自然科学科は、2024年度入学生から)
※内容は変更される場合がございますので、ホームページで最新情報をご確認ください。

ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く
ひらめき・こと・もの・ひとづくりプログラム

ゲームチェンジ時代の製造業を切り拓く
ひらめき・こと・もの・ひとづくりプログラム

別資料にて説明します!

1年次に実施される「ひらめき」専門のプログラム科目群

	主担当	期間	日程と教場 ※A・Bは同一内容
●ひらめきづくり1	岸・瀬戸	1Q	<ul style="list-style-type: none"> ・A 火 = 5限 (教場: 10号館 2F_PBL教室) ・B 金 = 5限 (同上)
●ひらめきづくり2	岸	4Q	<ul style="list-style-type: none"> ・A 火 = 5限 (教場: 10号館 2F_PBL教室) ・B 金 = 5限 (同上)
●ことづくり1	岸	3Q	<ul style="list-style-type: none"> ・A 火 = 5限 (教場: 10号館 2F_PBL教室) ・B 金 = 5限 (同上)
●ひとづくり1	杉浦 瀬戸 岩尾	後期集中	<ul style="list-style-type: none"> ・A ※教場は追ってwebclassにて連絡します 11/2、29 (水) = 3～5限: 杉浦セッション 12/6 (水) = 3～5限、12/13 (水) = 3限: 岩尾セッション 1209 (土) = 3～6限: 瀬戸セッション ・B ※教場は追ってwebclassにて連絡します 1/10 (水) = 3・4限、1/30 (火) = 1～4限: 杉浦セッション 1/31 (水) = 1～4限: 岩尾セッション 2/1 (木) = 1～4限: 瀬戸セッション

必ずパソコン
持参のこと

【参加申請について】

- 「ひらめきづくり」「ことづくり」「ひとづくり」の各科目は、本プログラムへの参加エントリー学生のみ履修することができます
(探究総合問題を含む入試・国際イノベーターコースおよび、選抜試験合格者)
- 本プログラムの申込受付は1年次・2年次の4月のみとなります

【履修科目について】

- CAPの上限は20単位です（前後期各々）
- ひらめき関連の集中講義はすべて**CAP外**です（ひらめ3～5,こと2～5,ひと1～3）
- ただし、ひとづくり必修グローバル教養(3)(4)（外国語特別講義）はCAP内です。
- 集中講義は、4月の履修登録期間内に必ず履修登録してください（うっかり履修ミス多し!）
- データサイエンスリテラシー(1)を履修すると、CAPのため20単位となってしまう場合は、ひらめきづくり(1)の履修を優先してください
(データサイエンスリテラシー(1)は2年次に履修してください)

【教養ゼミナールに関して】

- 「ひらめきプログラムが提供する科目」 以外の科目を1年生から履修可能です。
この場合でも、ひらめき(4)(5)に認定します
- 「ひらめきプログラムが提供する科目」は3年生のみ受講可能です。
※ 1, 2年生は受講できません
- 原則、自分の学科の先生以外の授業を履修してください。
- 3年次に万が一、ひとづくり(4)(5)の教養ゼミナールが抽選などで履修ができない場合は、通常の教養科目を履修してください。単位不足で進級が危うくなります
※詳細は学科の担任の先生に相談ください

【その他】

- 本プログラムの受講者は3年次以降「Next PBL(1)(2)」があります ※(1)は3年4Q、(2)は4年4Q予定
- 本プログラムの受講を継続するには、**一定の成績基準を満たしている必要があります**
※1年生は20単位以上、2年生は60単位以上を目安とする
- 教職課程希望の学生で「ひらめき」プログラムへの参加を希望する人は時間割上、履修が難しいため、クラス担任に相談してください
- **TAPに参加する学生も「ひらめき」プログラムに参加できます**
- 本プログラムを辞退する場合は以下の手順を踏む必要があります
 - ① 2024年2月15日までに「ひらめき」プログラム学修アドバイザーに辞退希望の旨を伝える
 - ② 2024年3月に各所属のクラス担任と面談
 - ③ 2024年4月のガイダンス期間最終日の17:00までに教育支援センターに辞退届を提出

【履修登録について】

機械工学科														
教育課程表														
○印必修科目														
区分	科目名	単位数	履修	履修期間					PA	FW	GP	WC	MY	科目ナンバリング
				1年	2年	3年	4年	5年						
理工学部	理工学生と生活	2	○											19-101
	工業概論	2	○	2										19-102
	電子力学入門	2	○											19-103
	材料力学入門	2	○											19-201
	材料力学入門	2	○											19-202
	論理的な問題解決の進め方	2	○											19-301
	電気電子回路の応用	2	○											19-302
	電気工学(1)	3	○											19-203
	ひらめきづくり(1)	2	○											19-901
	ひらめきづくり(2)	2	○											19-902
ひらめきづくり(3)	2	○											19-903	
ひらめきづくり(4)	2	○											19-904	
ひらめきづくり(5)	2	○											19-905	
Next PBL	1	○												19-906
機械設計(1)	2	○												11-111
機械設計(2)	2	○												11-211
機械工学実習(1)	2	○												11-112
機械工学実習(2)	2	○												11-113
創造性実習	2	○												11-114
特別講義(1)	2	○												11-911
特別講義(2)	2	○												11-912
特別講義(3)	2	○												11-913
機械力学(1)及び演習・実験	3	○												11-115
機械力学(2)	2	○												11-116
材料力学(1)	2	○												11-117
材料力学(2)	2	○												11-118
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-119
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-120
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-121
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-122
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-123
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-124
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-125
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-126
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-127
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-128
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-129
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-130
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-131
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-132
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-133
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-134
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-135
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-136
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-137
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-138
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-139
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-140
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-141
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-142
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-143
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-144
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-145
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-146
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-147
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-148
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-149
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-150
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-151
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-152
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-153
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-154
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-155
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-156
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-157
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-158
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-159
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-160
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-161
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-162
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-163
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-164
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-165
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-166
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-167
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-168
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-169
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-170
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-171
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-172
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-173
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-174
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-175
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-176
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-177
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-178
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-179
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-180
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-181
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-182
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-183
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-184
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-185
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-186
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-187
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-188
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-189
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-190
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-191
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-192
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-193
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-194
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-195
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-196
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-197
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-198
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-199
応用解析学及びCAD実習	3	○												11-200

ひらめきづくり [14単位]

◎必修

科目名	単位数	必修の別
ひらめきづくり(1)	2	◎
ひらめきづくり(2)	2	◎
ひらめきづくり(3)	2	◎
ひらめきづくり(4)	2	◎
ひらめきづくり(5)	2	◎
論理的な問題解決の進め方	2	◎
知的財産	2	◎

①リーフレットで「ひらめき」プログラムの科目と単位数、必修の別を確認

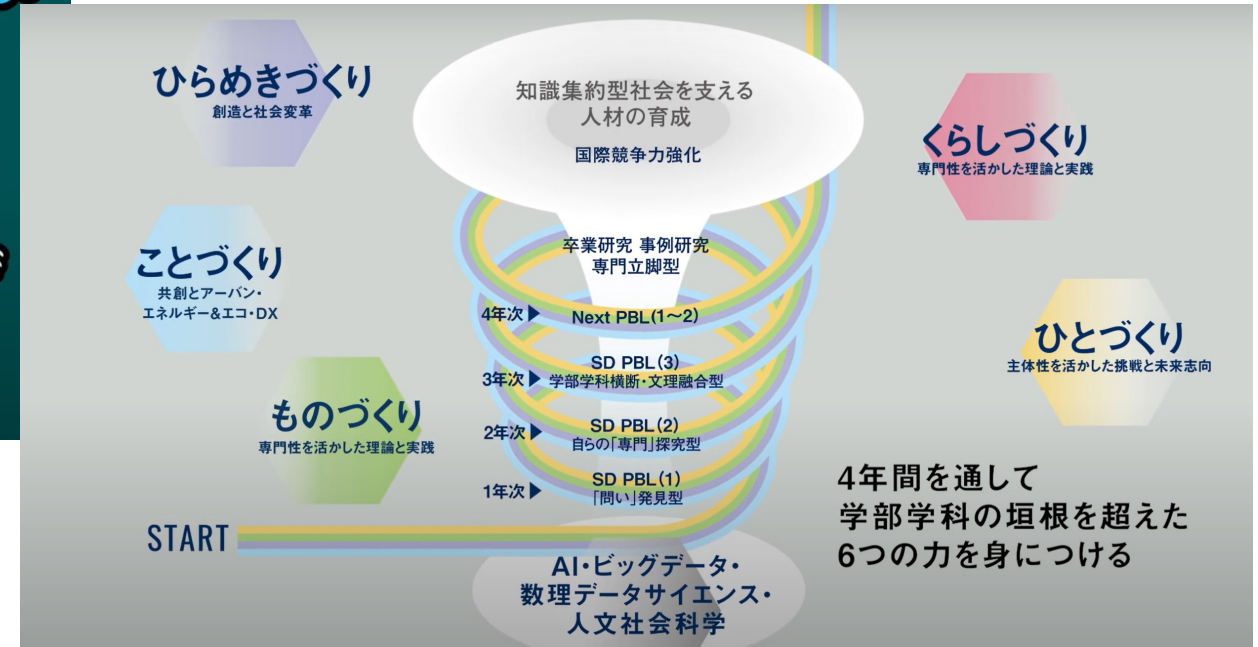
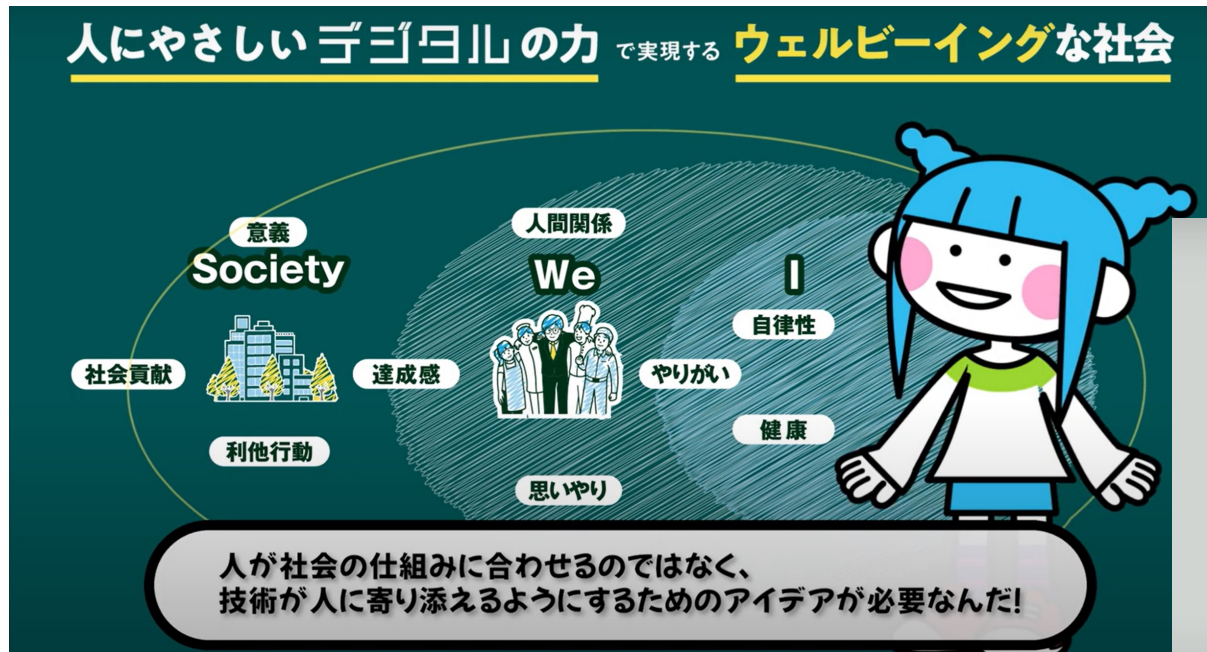
このプログラムで取得できる単位一覧

科目名	単位数	必修の別
ひらめきづくり(1)	2	◎
ひらめきづくり(2)	2	◎
ひらめきづくり(3)	2	◎
ひらめきづくり(4)	2	◎
ひらめきづくり(5)	2	◎
論理的な問題解決の進め方	2	◎
知的財産	2	◎

②『学修要覧』で各科目の区分などを確認（該当科目にマーカー等を引いていくとわかりやすい）

③卒業要件を満たすために、他に取るべき科目などを確認しながら進めること

ひらめきプログラムの紹介_新リリース動画



● 動画

③ひらめき「探究」プログラム ストーリー編 5'04"

<https://www.youtube.com/watch?v=PwEYm4zzmqU>

④ひらめき「探究」プログラム カリキュラム紹介編 8'20"

https://www.youtube.com/watch?v=cBysZO_F1sk

参加資格と選抜試験

ひらめきプログラム 2023 年度 4 月「探究総合問題」と「志望動機エッセイ」による選抜試験 概要

ひらめきプログラム運営委員会

【実施概要】

- 日時：4/8(土) 20:00 開始 ~ 4/9(日) 20:00 終了
- 対象：2023 年度 3 期生（1 年生）の希望者、2022 年度 2 期生（2 年生）の追加希望者
- 合格人数：定員 260 名（ひらめき PG 委員会が決定した、約半数ずつの A・B グループに分けて発表します）
- 合格発表：4/9(日) 22:30 パスワード付きホームページにて公開
- 試験方法：オンライン試験。解答は 1 回の受験限り。再受験不可。ランダム出題。
- 試験時間：探究総合問題（40 分）、志望動機エッセイ（40 分）
- 選抜試験合格者のエントリー登録：合格確認後、4/9(日)23:59 までに、必ず自分でエントリー登録してください。→2-3) 4) 参照
- 選抜試験なしで参加権利を持つ学生：探究総合問題を含む入試、国際イノベーターの入試合格・入学された学生
※当該学生は、4/8(土) 20 時までに、必ず自分でエントリー登録してください。自動登録ではありません。→2-1) 4) 参照

【実施詳細】

1. 受験前の姿勢

- 1) 必ず、1 人で受験してください。また、必ず、PC で受験してください。
- 2) インターネット接続環境が良い場所で受験してください。
- 3) 問題は、ランダムで出題されます。問題数は、全員等しく、問題によって配点が異なります。
- 4) ひらめきプログラム 4 月「探究総合問題」対策オンライン講座を終えてからの受験を推奨します。→2-2) 参照

2. 受験に必要な登録情報

- 1) 受験およびエントリー：探 Q 研のサイト (<https://tanqken.org/>) でのアカウントの登録が必要です。学番メール (TCU メール) で登録をしていただきます。学番メールでの登録以外は無効とします。
※登録方法は次ページをご覧ください。
※登録情報は厳重な管理の元ひらめきプログラムの登録者リストの作成、突合せに使用させていただきます。ご了承ください。
- 2) オンライン講座、およびオンライン試験（選抜試験 (CBT)）：
「探 Q 研」のホームページの中にあります <https://tanqken.org/>
※パスワード = [hiramekihirameki](https://tanqken.org/)（ひらめきが 2 回）
※パスワードを入れても画面が変わらない場合は、一度、トップに行き、再度、選抜試験 (CBT) のところを押してください。
なお、アカウント登録し、ログイン後でないと、各種サービスが受けられませんのでご注意ください。
- 3) 合格発表のホームページ「ひらめきプログラム ホームページ」：
<https://hirameki.tcu.ac.jp/> ひらめき NEWS、ブログに、学籍番号を掲載。
※パスワード = [hiramekihirameki2023](https://hirameki.tcu.ac.jp/)（ひらめきが 2 回 + 2023）
- 4) 合格者および、参加権利取得者のエントリー登録ページ（「探 Q 研」の中にあります。）：
<https://tanqken.org/%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%82%B9/hirameki-entry-2023>
ひらめきプログラムのエントリーができるホームページです。ログイン後に、エントリーをしてください。
それぞれ異なった締切日時がありますので、お気をつけください。
※パスワード = [hiramekihirameki2023](https://tanqken.org/%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%82%B9/hirameki-entry-2023)（ひらめきが 2 回 + 2023）

3. 「探 Q 研」ホームページのアカウント登録の方法

<https://tanqken.org/>を開き、[hiramekihirameki](https://tanqken.org/)（ひらめき 2 回）のパスワードを入れログインします

① ログイン

② ログインを押す

③ ログイン

④ ログイン

⑤ ログイン

⑥ ログイン

この画面になると、登録した学番メールにパスワード登録のための案内が届きます。その案内に沿って、パスワードを登録してください。迷惑メールフォルダにある場合がよくあります。迷惑メールフォルダを確認してください。

パスワードがわからなくなった場合、メールが来ない場合は、パスワードを設定するために、一度、ログアウトしてください。

登録ができたら、再度、ログインを試みてください。

パスワードをお忘れですか？を押す

登録した自分の学番メール (TCU メール) g23xxxx@gmail.com を入れ、新しいパスワードを取得のボタンを押す。
⇒ 登録した自分の学番メールに、メールが届きます。

注意
迷惑メールフォルダにある場合がよくあります。
迷惑メールフォルダを確認してください。

この資料は、オンラインでも見ることができます。<https://hirameki.tcu.ac.jp/>ひらめき NEWS、ブログに、掲載します。

※パスワード = [hiramekihirameki2023](https://hirameki.tcu.ac.jp/)（ひらめきが 2 回 + 2023）

以上、不明点やお困りのことがありましたら、tankoro2023@gmail.com にメールをいただくか、

<https://tanqken.org/> の「ひらめきアドバイジング」のところに、質問を書き込んでください。

※メールへの質問に対する回答は、<https://tanqken.org/>に記載することもあります。

別資料にて説明します！

- 0406 (木) ・ 13:40~17:10 SD_PBLウォーミングアップセミナー
- 0407 (金) ・ フレッシュヤーズキャンプ (~0408)

- 0408 (土) ・ ~20:00 **選抜試験なしで参加権利を持つ学生のエントリー登録期限**
- ・ **20:00~ オンライン選抜試験開始**
- 0409 (日) ・ **~20:00 オンライン選抜試験終了**
- ・ 22:30 選抜試験結果発表 (受講資格者公開)

- 0410 (月) 1Q開始
- 0411 (火) **ひらめきづくり1・Aグループ講義開始**
- 0412 (水) **前期履修登録期間 (4/12~14)**
- 0414 (金) **ひらめきづくり1・Bグループ講義開始**
- 0420 (木) **前期履修確認期間 (4/20~21)**

不明点や質問は下記までお願いします

「ひらめき・こと・もの・ひと」づくり
プログラムのホームページ
<https://hirameki.tcu.ac.jp>



メールアドレス

hirameki@tcu.ac.jp (担当：学修アドバイザー 岸、瀬戸)

「ひらめき研究室」

1号館B1 真ん中の階段／エレベータの近くです